



ももやまだより 6月号

No. 38号



先日は、親子遠足に皆様参加頂きありがとうございました。子どもたちも、お父さんお母さんと一緒に遊べてとても楽しそうでした。保護者の皆様も短い時間でしたが、満喫できたのではないのでしょうか。見ている私たちもとっても幸せな気持ちになりました。ありがとうございました。

今年も早くから気温も上昇し、夏日の日が多くなりますが、体調管理に気を付けてお仕事頑張ってください。園長

あかぐみ

新しいお友達が一人加わり、より一層にぎやかになりました。遊んでいるお友達をジーっと見つめたり真似したりするなど、子ども同士の関わりが増えてきました。モンシロチョウや小鳥を見つけたり、育てている野菜を触ろうとしたりする姿見られます。あまりの気持ち良い風に途中でうとうとする子も。6月も自然にたくさん触れ、刺激を受けたいです。

ももぐみ

長い連休明け、少し寂しくて泣く子もいましたがすぐに楽しそうに遊ぶ姿が見られました。最近、砂場遊びが大好きで保育者が大きいお山を作ると登ったり、足を砂に埋めたりと遊びがとてもダイナミックになってきました。また、お友達同士で関わりあうことも増え、よく名前を呼びあって遊んでいます。暑い日が続いているので、水あそびや泥遊びもしていこうと思います。

きぐみ

GW明けも元気いっぱい登園してくれた子どもたち。5月7日にはみんなでトマト、キュウリ、ピーマン、ナスの苗を植えました。初めての苗植えに子どもたちも少しドキドキの様子で、先生と一緒に植えました。毎日の水やりでは、「お野菜大きくなってね」と言い、水をあげながら野菜の成長を見るのが楽しみになっているようです。また、最近ではダンゴムシやテントウムシ等の生き物にも興味津々です。いろんな植物、生き物に見て触れて興味をもってほしいなと思います。



6月の行事予定

- 6日 不審者避難訓練
- 10日 音楽教室
- 11日 内科検診
- 20日 消火訓練
- 25日 誕生日会



ほけんだより

体温調節機能が十分発達していない乳幼児は、大人より熱中症にかかりやすいと言われています。気温が高い、湿度が高い、風邪が弱い日や体が熱さに慣れていない時は熱中症に注意が必要です。

熱中症の予防法

- ・こまめに水分補給をする。
- ・通気性の良い、吸湿性、速乾性のある衣服を着用する。
- ・室温の調節。
- ・日傘や帽子の着用。

熱中症の症状

軽：めまい、たちくらみ、手足のしびれ、筋肉痛、気分が悪い

中：頭痛、吐き気、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う

重：意識がない、痙攣、高い体温である、呼びかけに対し返事がおかしい



給食だより

季節の変わり目で体力がおちてくる梅雨の季節になりましたね。

この時期は食中毒に注意しましょう。菌が増えても、食品の味や風味の変化に気づかず食べてしまいがちです。

①しっかり加熱 ②出来たらすぐに食べる。 ③冷蔵庫で保存するなど、食品管理に気を付けてください。バランスの良い食事です梅雨の時期を乗り切りましょう。

～おやつ役割って？～

おやつは子どもにとって楽しみの一つです。そして心の栄養となります。また、子どもは小さな身体に対してたくさんのエネルギーが必要です。しかし胃袋が小さく、一度にたくさん食べられないので、1日3回の食事だけでは必要なエネルギーや栄養素が摂取できません。おやつには、それを補う食事としての役割があります。子どもにとっておやつは大切な食事と考えましょう。



👉おやつを与えるポイント

◎食事に影響しない量に！

袋ごとではなく、お皿に取り分けて

◎時間を決めて

1日1～2回。だらだら食べないことが大切！

◎内容について気を配る

おやつ＝菓子類だけでなく、果物や乳製品などの3度の食事です不足しがちなものを！

※食中毒の予防の基本は『手洗い』です。

ご家庭でも習慣づけ、手はいつも清潔にしておきましょう。



社会福祉法人 浩福会 桃山保育所
 〒763-0091 丸亀市川西町北 998-1
 ☎ 0877-35-7068 FAX 0877-35-7066